

## 「地域医療・福祉セミナー」主催：医療法人社団青木末次郎記念会



平成 29 年 2 月 17 日（金）18:30～20:00 厚木商工会議所 101 会議室において、「急性期治療病棟における治療の現状と課題」～精神科治療・地域福祉の最新動向～をテーマとして「地域医療・福祉セミナー」を開催いたしました。100 名参加の予定でしたが、それを上回るお申し込みを頂きました。

セミナーは、黒岩隆理事長の挨拶にはじまり、講演 1 では、厚木保健福祉事務所の大塚真矢氏から「管内の精神医療・福祉の動向と厚木保健福祉事務所の取り組み」と題して、保健福祉事務所の業務、相談件数、精神保健福祉法第 23 条通報に関わる支援などをお話して頂きました。また、高齢者の相談、依存症の専門医療機関やグループホームの不足、パーソナリティ障害への対応といった課題もあげられました。

講演 2 では、三浦賢吾相州病院院長から「急性期治療病における m-ECT の効果と展望」という題でお話頂きました。現在では、全身麻酔をかけ筋弛緩剤を用いてけいれん発作を誘発しない様施行されているため、安全に治療できるとのお話でした。

講演 3 では、西本雅彦相州病院副院長から「難治性統合失調症の患者に対する m-ECT と薬物療法の併用療法」との題でお話頂きました。治療のために大量の薬物を服用している患者様の中には、DSP（ドパミン過感受性精神病）の方が存在し、m-ECT や持続性注射などを用いて改善を図っているとの臨床実践のお話でした。

最後に、若田部博文副理事長よりご挨拶を頂き、参加者全員で有意義なセミナーだったことを共有致しました。

当日、金曜の夜にもかかわらず多数の方にご参加頂きました。改めて、ご参加頂いた方々に感謝申し上げます。

医療法人社団青木末次郎記念会

企画調整室部長 桑本 正

企画調整室補佐 石川孝行

地域医療セミナーに関するアンケート結果

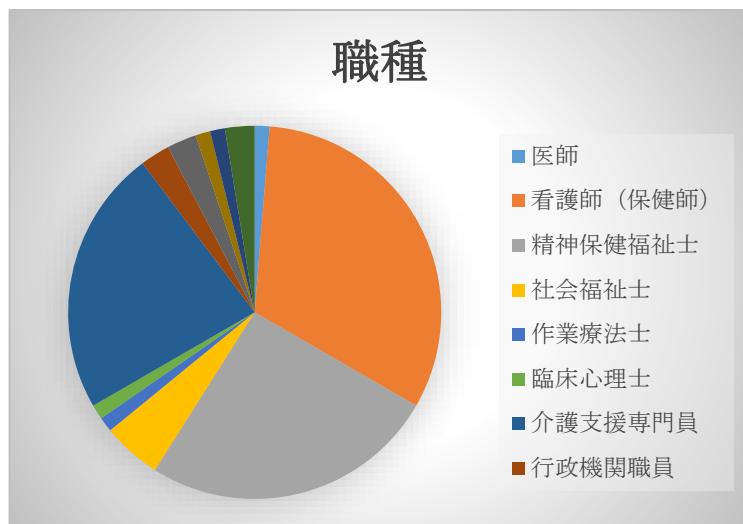
実施日：平成 29 年 2 月 17 日（金）

参加人数：108 名

回答数：78 名（回答率：72.2%）

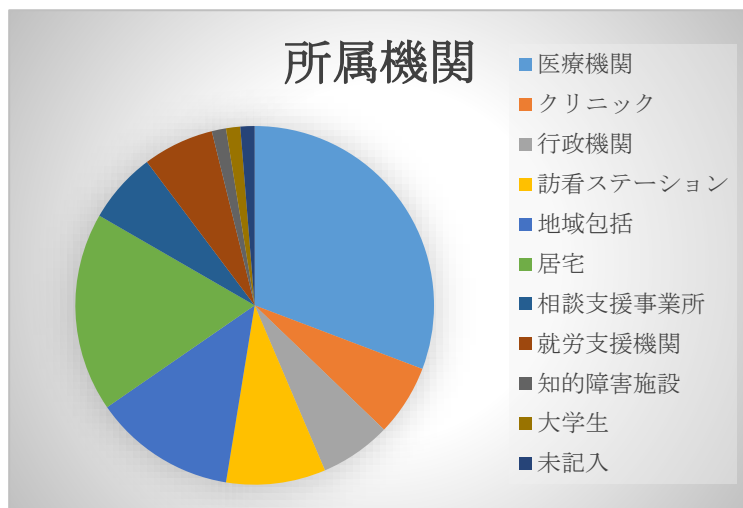
### 【職種】

医師	1
看護師（保健師）	25
精神保健福祉士	20
社会福祉士	4
作業療法士	1
臨床心理士	1
介護支援専門員	18
行政機関職員	2
就労支援機関職員	2
知的障害施設職員	1
学生	1
未記入	2
合計	78



### 【所属機関】

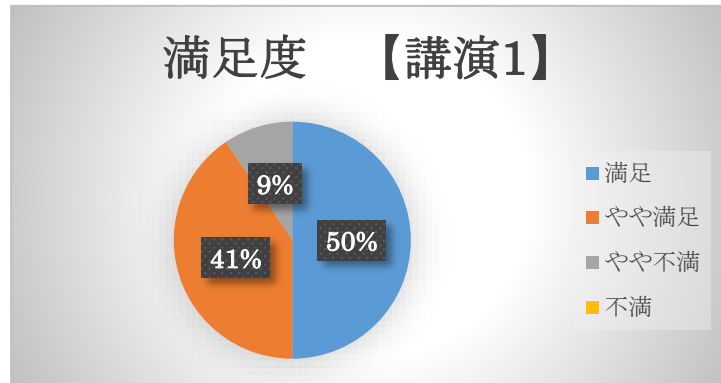
医療機関	24
クリニック	5
行政機関	5
訪看ステーション	7
地域包括	10
居宅	14
相談支援事業所	5
就労支援機関	5
知的障害施設	1
大学生	1
未記入	1
合計	78



## 【満足度】

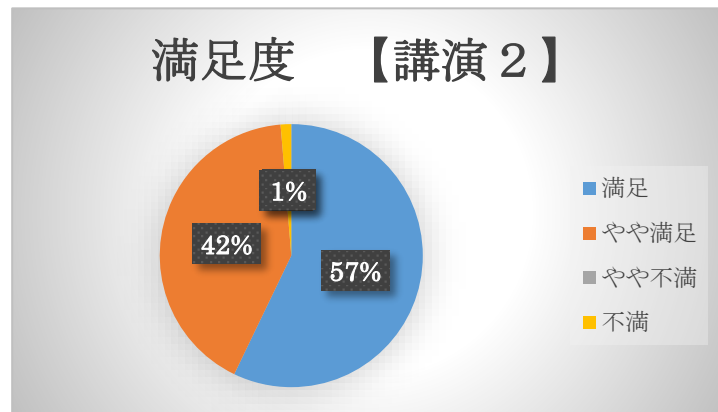
### 講演 1

満足	37
やや満足	30
やや不満	7
不満	0
N/A	4
合計	78



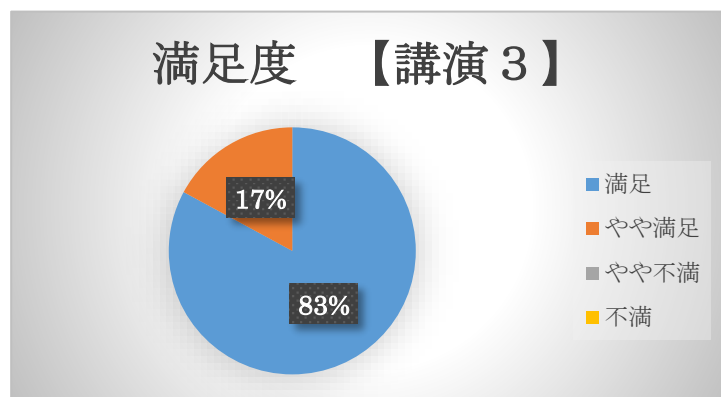
### 講演 2

満足	44
やや満足	32
やや不満	0
不満	1
N/A	1
合計	78



### 講演 3

満足	63
やや満足	13
やや不満	0
不満	0
N/A	2
合計	78



#### 【参加者の感想】

- 管内の現状や課題について知ることができ、とても勉強になりました。また、相州病院で取り組んでいる治療方法や DSP（難治性統合失調症）のことについても学ぶことができ、とても良かったです。
- DSP についての説明が分かりやすかったです。m-ECT（修正型電気けいれん療法）についての話は、適応範囲の広さは興味深かったです。また、デポの認知が低いので、驚きました。
- 厚木保健福祉事務所管内における相談内容や対応について、もう少し詳しくお聞きしたかったです。薬物療法について、もう少し深いところまでお聞きしたいと思いました。
- ECT、DSP 等、知らなかったことを知ることができて、とても良かったです。また、統合失調症について在宅で生活できる等、とても明るいイメージを持つことが出来ました。（暗いイメージでした）
- m-ECT を試行し、どのような良い効果があったのか、具体例をあげて紹介してほしい。この治療をすることで薬物の減量にも繋がっているのでしょうか？実際の数が知りたい。（副作用として）一過性の記憶障害ということですが、どの程度、期間など統計的なデータを知りたいと思いました。
- 今後も、このようなセミナーを開催してもらいたいと思います。

※一部抜粋